

出されたご意見・ご質問(要旨)	市教育委員会からの説明・回答(要旨)
<p>岸和田市へ来て50年になるが、ずっと久米田少年会館を利用してきた。徒歩で通える場所にあった施設が廃止になるのは非常に残念に思う。山直市民センターではどんなクラブや講座があるのかもわからない。</p> <p>また、現在の公民館は高齢者の利用が多数を占めており且つ稼働率は低いと説明があったが、高齢者にとってはなかなか自宅を出る機会が少ない中で、公民館活動が数少ない活動の機会になっている。全体としての稼働率の低さだけでみるのではなく、そういった側面を考えてもらいたい。</p> <p>久米田青少年会館の土地に安全な施設を作り直してもらえないのか。</p>	<p>一番近い館がなくなることでご不便をお掛けすることとなるが、本第1期実施計画においては、利用者に安全に利用いただくことが第一の使命であるとの考えから、「耐震性に欠け利用の安全性が確保できない施設」「利用者利用者の生活圏が重なり、再編によって移動に大きな困難を来たさない施設」を対象としており、耐震性のない久米田青少年会館もこれに当てはまる施設である。</p> <p>今回の再編によって自宅から最寄りの公民館までの距離が遠くなってしまおう方々や、移動が難しい等の理由から現在においても公民館利用が少ない85歳以上の高齢者の皆様についても、これまで以上に公民館活動にご参加いただけるよう、今後オンライン講座の充実やリモート開催などに取り組んでいく。</p>
<p>久米田青少年会館は最終的にどうなるのか。</p>	<p>久米田青少年会館は昭和39年建築の市内公民館等施設の中で最も古い施設である。</p> <p>また、「新耐震基準」（1981年に改正された建築基準法における震度6強の地震でも倒壊、崩壊せず人命が守れる基準）適用前に建築された施設であることと、補強コンクリートブロック造と鉄骨造の混構造となっていることから、現在の耐震基準では利用者の命が守れる安全性が担保できない。</p> <p>以上を踏まえると、施設の利用を継続することはできず、廃止はやむを得ないと考えている。</p>
<p>利用率が低いというが、利用率が高ければ潰さないということか。それならば、なぜ利用率を上げる努力をしないのか。進める順序が違うと思う。</p>	<p>稼働率が低い館を減らすということではない。稼働率を記載している理由は、対象館について再編を行ったとしても、利用の需要を統合先となる館が受け入れるキャパシティがあることをお示しするためである。</p>
<p>計画を進めていく背景として「岸和田市の人口減少が進んでいること」と説明があったが、近隣の他市町村と比較して減少率はどうか。府内でも岸和田市と同程度の大きさ、あるいは交通ネットワークの状況が似通っている場所と比較できるようなデータを示すべき。</p> <p>例えば和泉市は栄えてきていると思うが、それに対し令和27年度までに岸和田市の人口は14万人近くまで減少が見込まれていることについて、どういう対策をしているのか。</p>	<p>和泉市の人口は平成26年度の187,279人以降減少しているが、平成17年度と平成27年度を比較した場合の減少率は本市よりも緩やかである。</p> <p>その理由として、泉北高速鉄道の存在が大きいと思われる。本市においても、同鉄道の延伸要望や、湾岸部の開発にも取り組んでいるが、それでも人口は減少傾向にあり、人口減少自体に対する施策に取り組む一方で、現状とこの先の見込みを踏まえた施設運営を検討していく必要がある。</p>
<p>統合によって稼働率は上がると見込んでいるのか。</p>	<p>本計画の指針は、稼働率が低いことを理由として館数を減らすということではなく、稼働率を記載している理由は、再編を行ったとしても利用の需要を統合先となる館が受け入れるキャパシティがあることをお示しするためである。</p>
<p>令和7年廃止というのはどういった経緯で決まったのか。今後それをどのように説明していくのか。</p>	<p>第1期実施計画における計画期間は令和7年度であり、令和7年度末廃止を目標とするものであり、市の意思決定機関で承認を得た上で、皆さまに対し説明会を行うに至っている。</p> <p>今後、市民説明会を行った後、計画内で示している4つの具体的な取り組みの対象施設となっている各地域の皆様に対しより具体的な説明を行っていく考えである。</p>

<p>令和7年度の廃止というのはあまりにも急な話だなと感じる。例えば、現在のクラブ活動における役回りや任期と合わないなどの不都合が生じる。</p> <p>現在のクラブやサークル活動が、山直地区公民館できちんと継続できるのか不確定であることに不安を感じる。活動時間がほかの団体と被ってしまうことはないのか。80歳以上の方は来れない人も多い。公民館活動に来てもらうためにリモートなどを提案されているが、すべての活動でそのようなことが出来るか。</p>	<p>現在活動いただいているクラブやサークルを継続いただけるよう、今後、利用者調整を丁寧に行っていく所存であり、想定では約2年を要すると見込んでいる。</p>
<p>65歳以上の高齢者は増えていく見込みであり、かつ公民館利用者の多くが高齢者であるならば、高齢者にどのように公民館を利用していただけるのかをもっと考えていく必要があるはず。</p> <p>久米田青少年会館が耐震性に欠ける施設であること、立て直しが難しいことは理解するが、現在の利用者は高齢者が多い中で統合先が山直市民センターの1か所のみというのはどうかと思う。久米田青少年会館から山直市民センターへ移って、高齢者が本当にそこまで足を運べると考えているのか。さらに言えば、町会等も公民館を頻繁に利用しているので、今の場所で活動できなくなるというのは大変不都合である。</p>	<p>遠くなれば高齢者が出かけにくくなるというのご指摘のとおりであり、ご不便をおかけするが、全ての市民に対して、容易に歩いて通える距離の施設を用意するというのも現実的ではない。</p> <p>どうしても施設に行くことが難しいという方に対しては、公民館以外の他の施設の活用も含めた活動場所を検討するとともに、オンライン講座の開催などを積極的に行っていく考えである。</p>
<p>指針2「市民の学習環境の整備と学習機会の提供」について、現在の取り組み状況はどうか。</p>	<p>「①オンラインによる学びの充実」については、市立公民館でコロナ禍で部屋の利用人数に制限がかかった際に、別の部屋で動画配信を行い講座を実施したことを初めてとして、今年度は講座を録画し後日Youtubeで配信するという取り組みを計3回行う。</p> <p>「②他の公共施設での学習機会の充実」については、既に出前講座を年間通じて行っている。</p> <p>「③働く世代へのアプローチ」については、キャリア形成に繋がる講座を企画したり、仕事帰りでも参加いただけるよう夜間に講座を行うなどの取り組みをしている。また、SNSでの情報発信について、市立公民館ではInstagramでの広報活動を行っている。</p> <p>「④子どもの学習環境の充実」については、子ども向けの講座を継続的に企画し、学校ではできない学びの機会の提供と体験格差解消に努めている。</p> <p>「⑤リカレント教育の充実」については、多様な生き方や働き方を実現するため、学び直しへの関心の高まりに対応したスキルアップに繋がる講座の企画を行っている。</p> <p>「⑥障がいのある方の学びの充実」については、市立公民館では今年度、障害のある方対象講座を計2回実施予定である。また毎年度、障がい者理解を広めるための講座を実施している。</p>
<p>指針2で挙げている取り組み内容は誰しもが考えることだが、実際どこまでできるかが重要と思う。中でもリカレント教育というのは10年前から謳われてきたことで、現時点でこの取り組みが十分になされていないことがおかしい。</p>	<p>本市は老朽化の激しい施設を数多く所有している状況である。</p> <p>本市の財政状況を、経常的な経費に経常的な収入がどの程度充当されているかの比率を示した経常収支比率でみた場合、この比率が70%程度であれば臨時の財政需要や市民からのニーズなどに対応した、柔軟な事業実施が可能と言われているが、本市は96.4%と非常に高く、財政状況は硬直化している。このような現状ではソフト面を充実させるなどのきめ細やかな市民サービスの提供が非常に難しい状況であるため、施設の再編を進めることで生み出した財源を事業の充実などにあてていく方針である。</p>

<p>耐震工事を行っていない施設を、耐震性がないという理由で廃止するというの少々ちぐはぐに感じるものの、一定やむを得ないことと理解している。</p> <p>第1期、第2期と進めていく上で、財源確保の流れはシミュレーションできているのか。</p>	<p>再編によって生まれる財源は、優先的に施設の機能充実及び強化、子どもの学びの機会の充実に充てていく考えであり、このことは市長とも合意している。</p> <p>具体的に再編によってどれだけの財源が生み出せるかは、土地を売却することになるのかなど、今後地域の皆さまとの話し合いや協議内容によって大きく変わる部分があるため、現時点ではシミュレーションはできていない。</p>
<p>公民館に来ることが難しいご高齢の方、特に85歳以上の方々を置いていかないようにするための取り組みとして、オンライン講座の充実やリモートによる開催を提案されていたが、高齢者にとってハードルが高いと思う。</p>	<p>高齢者にとってオンライン講座受講にはハードルがあるが、使い方の研修や受講方法の案内を積極的に行っていくことで、より多くの方に公民館活動に参加いただけるよう努めていく。</p>
<p>オンライン講座は本当にその講座に興味がある人しか理解できない。オンラインを推し進めていくとしても、補完的な意味で対面による実施もすべきだと思う。</p>	<p>あくまで基本は対面であり、オンラインによる開催は対面とプラスのものと考えている。市民の多様な学習環境の整備と学習機会の提供を推進していくために、オンラインによる学びの充実も行い、例えば複数館をオンラインでつなぎ、やり取りをしながら進めるような、交流促進につながるオンラインならではの講座も企画できればよいと考えている。</p>
<p>公民館の空き状況と活動時間が合わなくなった場合、町会館を利用するなどを検討する必要が生じた際は行政が交渉してくれるのか。</p>	<p>利用調整の中で他の施設利用を希望する声が多く上がれば、検討や協議を行っていく。</p>
<p>統合した場合、活動場所・時間を決定する際は、集約先の館で元から活動している団体が優先されるのか。もし時間が重複した場合、夜間へ移動して欲しいと提案されても無理な人もいる。</p>	<p>活動団体（クラブ）は、前年度に登録の申請を行い一年間の部屋の先押さえを行っている。利用調整にあたっては、集約先となる館でもともと活動していた団体が全て優先されるということではない。全てのクラブを対象として利用調整を行い、活動時間・部屋が重複した場合は、それぞれの団体に隔週で利用いただくようお願いしたり、活動内容に対して必要な部屋の広さを再検討いただくよう提案させていただくことも考えられる。</p>
<p>選挙会場としても利用されていると思うが、施設廃止後はどうなるのか。</p>	<p>仮に久米田青少年会館が廃止となった場合は、学校やその他近隣施設を活用するなど、代替施設の確保に向けて選挙管理委員会事務局と協議していく。</p>
<p>他の施設の利用について、小学校・中学校自体も再配置の問題があり、代替施設として活用していくことには困難な点も多くあると思うが、どのようにしていけば実現できるかを考えていくことが行政の仕事だと思う。</p>	<p>他の施設の活用については、計画に「市民の学習環境の整備、機会の提供にあたっては他の公共施設などの利用促進」と方針を記載しているが、行政が勝手に町会館などの民間の施設を利用すると決めることはできない。そのため、市民説明会の場で本計画について十分に説明をし、地域の皆さまのご理解を得ていく必要がある。また、学校の活用については、学校施設開放ですでに利用されているケースもあり、今後協議・調整を進めていく。</p>
<p>現在の利用者にとって久米田青少年会館は憩いの場となっている。</p> <p>そのような施設を取り壊すことだけが決定しており、その後どうしていくかは今後協議していくというのは受け入れ難い。取り壊しをするのであれば、その先の見通しが立っているべきではないか。</p>	<p>現段階で、施設廃止を前提にした跡地利用等の計画を立てることはできず、まずは、市の方針について市民の皆さまに十分な説明をし、納得を得られて初めて、その先についての協議・議論が進められるものと考えているため、施設を廃止した場合の土地の活用方法などについて具体的な案は持ち合わせていない。土地は、広く市民全体の貴重な財産であることから、地域の皆さまのご意見を踏まえつつ、今後の活用方法を判断していく。</p>